

【事務事業調書】

事務事業名	たかねざわまちあるもの探し事業費			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-02-01-12-003-07-01-0
担当部課	総務企画部 総務課	担当	行政経営担当	事業の分類	既存事業
		サブリーダー	福田 光久		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<ul style="list-style-type: none"> ◆町の活性化に結び付けるために団体が行おうとする自主的な活動(ソフト事業)に対して、行政が予算の範囲内で側面的なサポート(事業費補助)を行う事業です。 ◆ソフト事業とは、土地、建物、工作物、備品等の整備に重きを置く事業でなく、町の活性化に繋げることに重きを置き、具体的な手段(活動内容)を明確に提示している事業のことをいいます。 ◆公募形式とし、適否を認定委員会で審査します。補助率、上限額は規定しておらず、認定委員会の審議によって決定されます。 ◆事業申請、実績報告の段階において、行政と団体が将来的なビジョン、お互いの役割分担を協議する場を設けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業費補助という側面的な支援メニューを設けることによって、団体等の自らの創意に基づく自主的な活動が促進されます。 ※本事業は、住民協働推進計画の中で住民発意のまちづくりに対する行政の関わり方、財源等、制度保障を整理していない状況下において先行して運用していることから、手法の妥当性に疑問を残しています。 ※本事業は、上記の整理に向かう上でのプレ企画(段階的な意識醸成策)として運用中ですが、住民協働推進計画の議論の状況をみながら、本制度が新たな制度へと繋がらないと判断した場合は、事業を廃止する予定です。また、積極的な団体、新規団体等への受け皿として本事業を運用中ですが、事業が申請されない、住民主体のまちづくりの気運が高まらない等、受け皿を設けておく必要性が低いと判断した場合は、事業を廃止する予定です。 ※現時点ではこれらの判断が付かないため、H21年度まで事業を継続しながら成果を検証します。H20事後評価で総括し、H22事前評価までには是非を判断します。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町に眠っている資源(魅力)を新たに掘起し、町(地域)の活性化やイメージアップに繋げるという趣旨に基づいたソフト事業に対して、町が予算の範囲内で側面的なサポート(事業費補助)を実施しました。 ・公募形式とし、認定委員会において、1件(ちよっ蔵広場光のページェント事業)が認定されました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費補助という側面的な支援メニューを設けたことによって、地域、団体等の自らの創意に基づく自主的な活動を誘発し、「協働」を具現化していく上での足掛りとして期待できるものと判断します。 ・今までの補助事業と違い、事業の継続性を前提とし、団体等に事業の成果を検証してもらうことを設けたことにより、自立を前提とした事業を行ってもらう制度ですが、町のPR不足もあり、結果的に1件のみの申請、認定となりました。 ・地域=(イコール)町にとって素晴らしい「あるもの」をうまく活用することができず、協働という理念が町民の皆さまの中に浸透していないなど、ダイナミックな視点を持ってまちづくりに取り組む、新たな「人」たちの出現には至っておらず、その育成や活用にも、まだまだ課題があると認識しており、今後この制度(事業)のあり方として課題を残す結果となりました。 よって、当事業については、事業申請がされない状況を鑑み、住民主体のまちづくりの受け皿を設けるべきとの気運が高まるまで、廃止事業とします。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
事業認定件数 (単位:件)	5件	1件	◆H21年度実績 認定事業 「ちよっ蔵広場光のページェント事業」:ちよっ蔵広場光のページェント実行委員会

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 補助金	5,000,000
2 報償費	99,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	5,099,000



■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 補助金	5,000,000
2 報償費	99,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	5,099,000



■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 補助金	3,480,000	「ちよっ蔵広場光のページェント事業」:3,480,000円
2 報償費	22,000	認定審査委員報償(4名×5,500円)
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	3,502,000	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		5,099,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		5,099,000	
決 算	決算額		3,502,000	
財 源	国庫支出金			
	県支出金		1,740,000	「わがまち自慢推進事業費」(町補助金の1/2)
	地方債			
	受益者負担金			